

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	4-1-1		事業名	北海道舞台塾事業費負担
担当	観光文化局文化市民文化課 犬飼 211-2261			
全体計画（当初）				
事業内容	北海道舞台塾事業へ負担金を支出する。 北海道舞台塾事業は、舞台芸術に関する知識や技術の習得の場、創造意欲喚起の場を創出することにより、舞台芸術活動の活性化や裾野の拡大を図るもので、道内外に舞台芸術に関する広範なネットワークを形成し、北海道劇場の整備に向けたソフト機能の先行整備を図ることを目的としている。北海道と本市が中心となって、この事業に係る経費の一部を負担するもの。		＜年度別の事業内容＞	
			平成16年度 - 事業費への負担金支出 平成17年度 - 事業費への負担金支出 平成18年度 - 事業費への負担金支出	
事業内容 （量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	<p>先進的創造活動の推進</p> <p>(1)「リアルワークショップ」 - ツクルヲミセル - 平成17年2月27日 かでの2・7ホール</p> <p>(2)「ダイアログ・イン・ザ・ダーク ショーケース in 北海道」 平成17年3月18日～22日 北方圏学術情報センター ポルトホール</p> <p>(3)「Perspective パースペクティブ」 平成17年3月26日・27日 道立近代美術館 講堂</p> <p>(4)ワークショップ 篠井英介ワークショップ 平成17年1月23日、29日 原田薫ワークショップ 平成17年2月6日、13日 三枝宏次ワークショップ 平成17年2月19日</p>		<p>先進的創造活動の推進</p> <p>(1)「エア」 平成18年2月25、26日(計4公演) 札幌市生涯学習センターちえりあ</p> <p>(2)ワークショップ ベーシックコース 11回 参加者:240名 マスターコース 3回 参加者:78名 スタッフワークショップ 5回 参加者:71名</p> <p>(3)その他 稽古場の開放 貸出回数169回 インターネットを活用した広報 アクセス数21,243件</p>	
事業内容 （量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	<p>先進的創造活動の推進</p> <p>(1)ワークショップ 平成18年5月～12月</p> <p>(2)公演 平成19年3月9日、10日、11日</p>		<p>札幌市内で実施されていた「先進的創造活動の推進」事業においては、演劇、ダンス、映像などを融合させた実験的な試みなども行われ、舞台芸術に携わっている市民の創作活動に刺激を与え、よりよい人材の育成やネットワークづくりに貢献した。 また、成果の発表の場においては、舞台芸術に対する市民(道民)の興味と関心の喚起を図ることができ、本市の文化芸術の振興に寄与した。</p>	
		課題		
		北海道劇場の整備に向けたソフト機能の先行整備を図ることを目的としているため、劇場建設の動向に留意する必要がある。		
19年度以降の方向性・事業の予定				
<p>北海道舞台塾の「先進的創造活動の推進」事業は平成16年度から平成18年度までの3か年事業として行われている。舞台芸術をはじめとした文化に対する市民(道民)の興味と関心の喚起を図るといった事業趣旨には賛同するものの、外部評価の結果を踏まえ、さらに、北海道の北海道劇場建設計画が当面凍結となっていることなども勘案し、平成19年度においては負担金を支出しないこととした。 しかし、北海道の演劇をはじめとした舞台芸術の活性化のために、引き続き連携、協力する予定である。 また、今後の北海道劇場建設計画の動向等に留意しながら、対応についても検討していく。</p>				

